

第4章 学校施設の目指すべき姿と現状

第4章 学校施設の目指すべき姿と現状

4-1 学校施設の目指すべき姿

児童生徒等の安全・安心の確保、質の高い教育環境づくりの推進、学校・家庭・地域が一体となり教育のまちづくりを進めていくため、学校施設の目指すべき姿を次のとおり掲げます。

安全・安心で快適な学校施設

- 学校施設は、多くの児童生徒等が一日の大半を過ごす学習・生活の場であるため、児童生徒等の健康と安全を十分に確保するとともに、快適で豊かな空間となるように各学校の実情に応じた施設整備を図ります。
- 特別な支援の必要な児童生徒等を含め、エレベーターの設置や、バリアフリー化、トイレの洋式化など誰もが安心して快適に利用できる施設整備を進めます。

学習活動に適応した学校施設

- 情報教育の推進にあたり、学校におけるICT環境について情報セキュリティを確保し、安定的かつ計画的に整備します。
- 特別な支援の必要な児童生徒等に対して、個々の状況に応じた教育支援ができる環境を整備します。
- 子どもたちのより良い教育環境と充実した教育活動を確保します。

地域に根ざした学校施設

- 地域住民にとって最も身近な公共施設として、地域活動の拠点、生涯学習の場としての利活用が推進できるとともに、地域の防災拠点としての役割を果たすことができるように、施設整備に努めます。

4-2 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

(1) 対象施設一覧（令和7年（2025年）5月1日時点）

■小・中学校

名称	住所	延床面積 (㎡)	建築 年度	児童・生徒数（人）			学級数（学級）		
				通常 学級	特別 支援	計	通常 学級	特別 支援	計
1 久代小学校	久代3丁目27-9	7,130.00	1968(S43)	465	24	489	16	4	20
2 加茂小学校	加茂3丁目14-1	7,769.00	1975(S50)	442	55	497	18	9	27
3 川西小学校	栄根1丁目1-1	7,331.00	1971(S46)	500	40	540	18	6	24
4 桜が丘小学校	日高町4-1	6,620.31	1971(S46)	383	25	408	13	4	17
5 川西北小学校	丸の内町7-1	7,182.00	1971(S46)	502	36	538	18	7	25
6 明峰小学校	萩原台西3丁目242	8,012.07	1975(S50)	675	25	700	24	6	30
7 多田小学校	多田院1丁目4-1	7,058.00	1973(S48)	432	31	463	16	5	21
8 多田東小学校	東多田3丁目21-1	6,724.00	1982(S57)	534	39	573	18	6	24
9 緑台小学校	向陽台1丁目7-1	7,669.00	1970(S45)	305	17	322	12	3	15
10 陽明小学校	向陽台3丁目6-219	6,861.00	1974(S49)	325	19	344	12	3	15
11 清和台小学校	清和台東2丁目2-2	5,616.00	1970(S45)	164	13	177	6	3	9
12 清和台南小学校	清和台西5丁目1-2	6,043.00	1976(S51)	176	12	188	7	3	10
13 けやき坂小学校	けやき坂3丁目1-2	6,735.00	1988(S63)	463	23	486	17	4	21
14 東谷小学校	見野2丁目30-1	7,117.00	1971(S46)	512	32	544	18	4	22
15 牧の台小学校	大和東1丁目47-1	8,036.00	1972(S47)	519	29	548	19	5	24
16 北陵小学校	丸山台1丁目3-2	5,783.00	1986(S61)	286	13	299	12	3	15
17 (旧)加茂小学校 体育館	加茂3丁目13	901.93	1969(S44)	—	—	—	—	—	—
小学校計		112,588.31	—	6,683	433	7,116	244	75	319
1 川西南中学校	久代3丁目3-1	8,672.00	1960(S35)	507	16	523	16	3	19
2 川西中学校	松が丘町1-1	9,353.05	1964(S39)	545	30	575	17	4	21
3 明峰中学校	湯山台1丁目39-1	6,328.15	1976(S51)	379	9	388	12	3	15
4 多田中学校	新田2丁目29-1	8,105.86	1970(S45)	504	16	520	15	3	18
5 緑台中学校	向陽台3丁目11-35	6,660.59	1978(S53)	315	13	328	10	3	13
6 清和台中学校	清和台西2丁目3-57	7,575.44	1974(S49)	488	19	507	15	3	18
7 東谷中学校	見野1丁目9-1	8,321.53	1970(S45)	763	26	789	23	5	28
中学校計		55,016.62	—	3,501	129	3,630	108	24	132
合計		167,604.93	—	10,184	562	10,746	352	99	451

■特別支援学校

名 称		住 所	延床面積 (㎡)	建 築 年 度	児 童 生 徒 数 (人)	学級数 (学級)
川西養護学校	小学部	清和台西2丁目3-81	2,922.00	1977 (S52)	15	6
	中学部				6	2
	高等部				4	2
合 計			2,922.00	—	25	10

■幼稚園

名称		住所	延床面積 (㎡)	建築 年度	園児数(人)			学級数(学級)		
					4歳児	5歳児	計	4歳児	5歳児	計
1	久代幼稚園	久代2丁目12-1	682.00	1969(S44)	2	9	11	1	1	2
2	多田幼稚園	多田院1丁目4-3	705.00	1974(S49)	4	10	14	1	1	2
3	(旧)東谷幼稚園	見野2丁目29-24	729.00	1976(S51)	—			—		
4	(旧)加茂幼稚園	加茂1丁目4-5	655.00	1970(S45)	—			—		
5	(旧)川西幼稚園	小花1丁目16-13	944.00	1967(S42)	—			—		
6	(旧)松風幼稚園	水明台1丁目1-20	640.00	1974(S49)	—			—		
7	(旧)清和台幼稚園	清和台東2丁目3-4	675.00	1970(S45)	—			—		
8	(旧)ふたば幼稚園	加茂1丁目18-30	620.00	1975(S50)	—			—		
合計			5,650.00	—	6	19	25	2	2	4

■認定こども園

名称		住所	延床面積 (㎡)	建築 年度	園児数(人)				学級数(学級)			
					～3歳児	4歳児	5歳児	計	～3歳児	4歳児	5歳児	計
1	加茂こども園	加茂3丁目13-22	2,222.23	2018(H30)	58	43	39	140	5	2	2	9
2	川西こども園	栄根1丁目1-1	1,275.89	2019(H31)	59	46	47	152	5	3	2	10
3	川西北こども園	丸の内町7-1	1,394.04	2021(R3)	55	25	33	113	5	2	2	9
4	牧の台みどりこども園	大和東1丁目47-5	1,635.22	2017(H29)	77	41	40	158	5	2	2	9
合計			6,527.38	—	249	155	159	563	20	9	8	37

■留守家庭児童育成クラブ

	学校名	クラブ名	延床面積 (㎡)	建築 年度	児童数 (人)	定員	待機 児童数 (人)
1	久代小学校	オレンジクラブ	—	—	48	40	15
2	久代小学校	アップルクラブ	—	—	48	40	
3	加茂小学校	さくらんぼクラブ	—	—	47	40	8
4	加茂小学校	マスカットクラブ	—	—	47	40	
5	川西小学校	つくしんぼクラブ	—	—	48	40	1
6	川西小学校	つばめクラブ	—	—	48	40	
7	川西小学校	めだかクラブ	—	—	48	40	
8	桜が丘小学校	あじさいクラブ	—	—	48	40	22
9	桜が丘小学校	すずらんクラブ	—	—	48	40	
10	川西北小学校	たつのこクラブ	—	—	41	34	17
11	川西北小学校	らっこクラブ	—	—	48	40	
12	明峰小学校	そよかぜクラブ	240.00	2008 (H20)	51	40	21
13	明峰小学校	はるかぜクラブ			51	40	
14	多田小学校	とんぼクラブ	—	—	48	40	0
15	多田東小学校	こすもすクラブ	156.61	2000 (H12)	41	35	0
16	多田東小学校	なでしこクラブ			40	34	
17	緑台小学校	たんぼぼクラブ	—	—	48	40	4
18	陽明小学校	ゆうやけクラブ	—	—	47	40	6
19	清和台小学校	ひまわりクラブ	—	—	43	40	0
20	清和台南小学校	こんぺいとうクラブ	—	—	33	40	0
21	清和台南小学校	かりんとうクラブ	—	—	34	40	
22	川西養護学校	こんぺいとうクラブ分室	—	—	1	3	0
23	けやき坂小学校	ぼてとクラブ	160.65	2014 (H26)	37	35	0
24	けやき坂小学校	オリーブクラブ			34	35	
25	東谷小学校	やまびこクラブ	153.00	2006 (H18)	39	33	0
26	東谷小学校	どんぐりクラブ			45	38	
27	牧の台小学校	あめんぼクラブ	—	—	46	40	0
28	牧の台小学校	なのはなクラブ	—	—	64	40	
29	北陵小学校	イルカクラブ	126.10	2006 (H18)	30	27	0
30	北陵小学校	ペンギンクラブ			32	27	
合計		—	836.36	—	1,283	1,101	94

※留守家庭児童育成クラブ専用棟がある学校は、延床面積と建築年度を記載しています。

4-3 児童生徒数等及び学級数の変化

(1) 小・中学校児童・生徒数

小学校の児童数は、昭和 55 年度（1980 年度）の 15,993 人をピークに、また中学校の生徒数は昭和 60 年度（1985 年度）の 8,024 人をピークに減少し、令和 2 年度（2020 年度）には小学校の児童数は 7,831 人、中学校の生徒数は 3,781 人と半減しています。

その後も減少傾向が続き、令和 7 年度（2025 年度）には小学校の児童数は 7,116 人になり、令和 2 年度（2020 年度）から 9.1%減少し、中学校の生徒数は 3,630 人になり 4.0%減少しています。

今後 6 年間の予測でも緩やかな減少傾向となっており、令和 13 年度（2031 年度）には児童数は 6,285 人となり令和 7 年度（2025 年度）から 11.7%の減少、生徒数は 3,156 人となり 13.1%減少する予測となっています。

■小学校児童数将来予測

学校名	これまでの推移（人）						将来予測（人）					
	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)
久代小	517	503	514	490	482	489	482	503	516	539	544	549
加茂小	507	501	503	491	494	497	500	492	500	494	489	484
川西小	590	556	546	549	537	540	494	472	468	433	394	359
桜が丘小	314	328	344	382	392	408	374	361	335	310	302	294
川西北小	435	468	500	509	518	538	573	562	567	563	572	581
明峰小	816	784	789	756	740	700	709	690	680	660	624	590
多田小	478	483	472	464	459	463	441	425	412	398	389	380
多田東小	648	626	617	589	580	573	546	511	487	477	442	410
緑台小	292	277	288	291	298	322	328	346	366	394	426	461
陽明小	293	297	298	328	329	344	355	377	394	398	404	410
清和台小	285	241	220	218	196	177	176	180	172	162	160	158
清和台南小	294	282	236	222	198	188	183	175	174	173	184	196
けやき坂小	660	679	674	602	531	486	409	321	269	236	215	196
東谷小	668	615	584	588	561	544	478	461	434	389	379	369
牧の台小	526	523	511	520	513	548	568	591	622	647	674	702
北陵小	508	475	434	381	338	299	247	216	191	175	160	146
合計	7,831	7,638	7,530	7,380	7,166	7,116	6,863	6,683	6,587	6,448	6,358	6,285

■中学校生徒数将来予測

学校名	これまでの推移（人）						将来予測（人）					
	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)
川西南中	496	507	496	514	521	523	534	506	519	491	509	528
川西中	524	537	560	566	581	575	604	607	619	637	619	602
明峰中	433	453	425	408	376	388	368	363	344	347	344	341
多田中	576	571	559	546	530	520	485	499	487	487	463	440
緑台中	351	389	384	350	318	328	329	334	348	378	388	398
清和台中	563	539	520	519	526	507	484	460	412	370	301	245
東谷中	838	866	833	875	837	789	777	720	693	653	627	602
合計	3,781	3,862	3,777	3,778	3,689	3,630	3,581	3,489	3,422	3,363	3,251	3,156

(2) 小・中学校学級数

小学校の学級数は、児童数がピークを迎えた昭和55年度（1980年度）の407学級から、また中学校の学級数は生徒数がピークを迎えた昭和60年度（1985年度）の199学級から、令和2年度（2020年度）には小学校は326学級、中学校は124学級に減少しています。

令和2年度（2020年度）以降の学級数は、小学校・中学校ともに多少の増減が見られ、令和7年度（2025年度）には小学校は319学級とやや減少、中学校は132学級とやや増加しています。

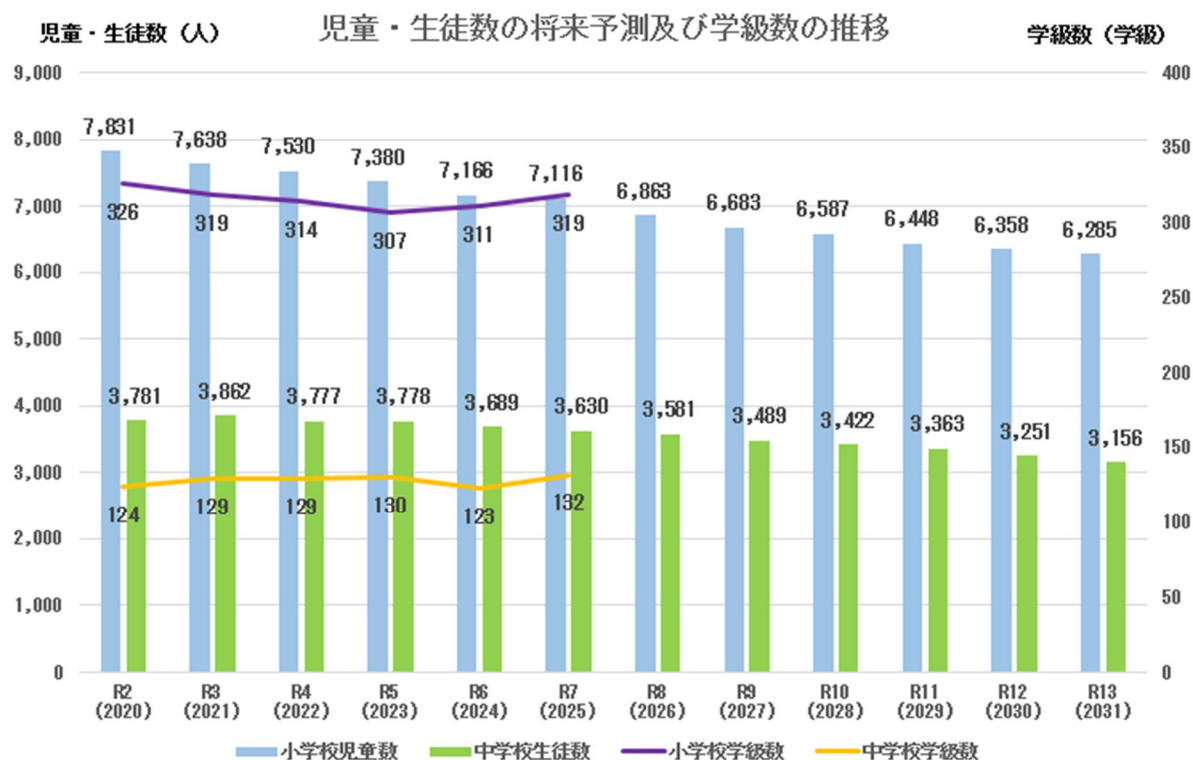
■小学校学級数推移

学校名	これまでの推移（学級）					
	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
久代小	21	21	21	21	20	20
加茂小	24	23	24	23	27	27
川西小	23	23	22	22	24	24
桜が丘小	16	16	16	16	16	17
川西北小	19	19	20	20	20	25
明峰小	29	27	29	29	29	30
多田小	19	19	19	19	21	21
多田東小	24	24	24	24	23	24
緑台小	14	13	13	14	15	15
陽明小	14	13	14	15	15	15
清和台小	14	12	10	10	9	9
清和台南小	14	14	13	11	10	10
けやき坂小	25	27	26	24	23	21
東谷小	26	25	23	22	22	22
牧の台小	22	23	22	21	21	24
北陵小	22	20	18	16	16	15
合計	326	319	314	307	311	319

■中学校学級数推移

学校名	これまでの推移（学級）					
	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
川西南中	16	18	18	17	17	19
川西中	19	19	21	22	21	21
明峰中	14	14	13	14	13	15
多田中	17	18	18	18	16	18
緑台中	12	14	13	13	11	13
清和台中	19	18	18	18	18	18
東谷中	27	28	28	28	27	28
合計	124	129	129	130	123	132

※学級数は、特別支援学級を含みます。



(3) 特別支援学校児童・生徒数及び学級数

特別支援学校（川西養護学校）の児童・生徒数及び学級数は、令和2年度（2020年度）以降多少の増減がみられますが、ほぼ同規模を維持しています。

■児童・生徒数

(人)

学校名		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
川西 養護 学校	小学部	12	9	11	15	15	15
	中学部	5	6	4	6	6	6
	高等部	10	7	9	5	6	4
合計		27	22	24	26	27	25

■学級数

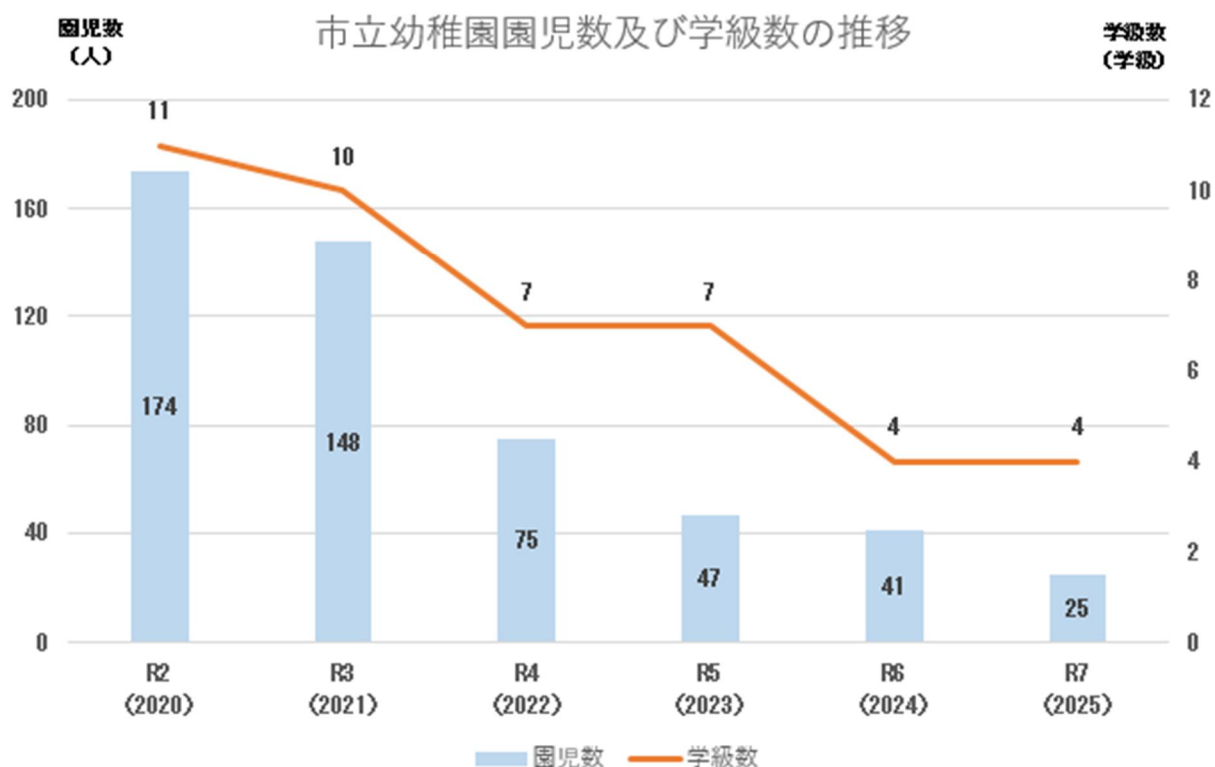
(学級)

学校名		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
川西 養護 学校	小学部	4	4	4	5	6	6
	中学部	2	2	2	2	2	2
	高等部	5	4	4	2	2	2
合計		11	10	10	9	10	10

(4) 幼稚園園児数及び学級数

市立幼稚園の園児数については、令和2年度（2020年度）の174人から減少傾向が続いています。川西北幼稚園が認定こども園化に伴い閉園となったことから令和4年度（2022年度）では75人、清和台幼稚園と東谷幼稚園が閉園となったことから令和7年度（2025年度）では25人となっています。

園名	R2(2020)		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)		R7(2025)	
	園児数 (人)	学級数 (学級)	園児数 (人)	学級数 (学級)	園児数 (人)	学級数 (学級)	園児数 (人)	学級数 (学級)	園児数 (人)	学級数 (学級)	園児数 (人)	学級数 (学級)
久代	44	2	37	2	22	2	23	2	21	2	11	2
川西	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
川西北	55	3	36	2	—	—	—	—	—	—	—	—
多田	27	2	31	2	21	2	13	2	20	2	14	2
清和台	19	2	15	2	10	1	1	1	—	—	—	—
東谷	29	2	29	2	22	2	10	2	—	—	—	—
合計	174	11	148	10	75	7	47	7	41	4	25	4



(5) 留守家庭児童育成クラブ児童数

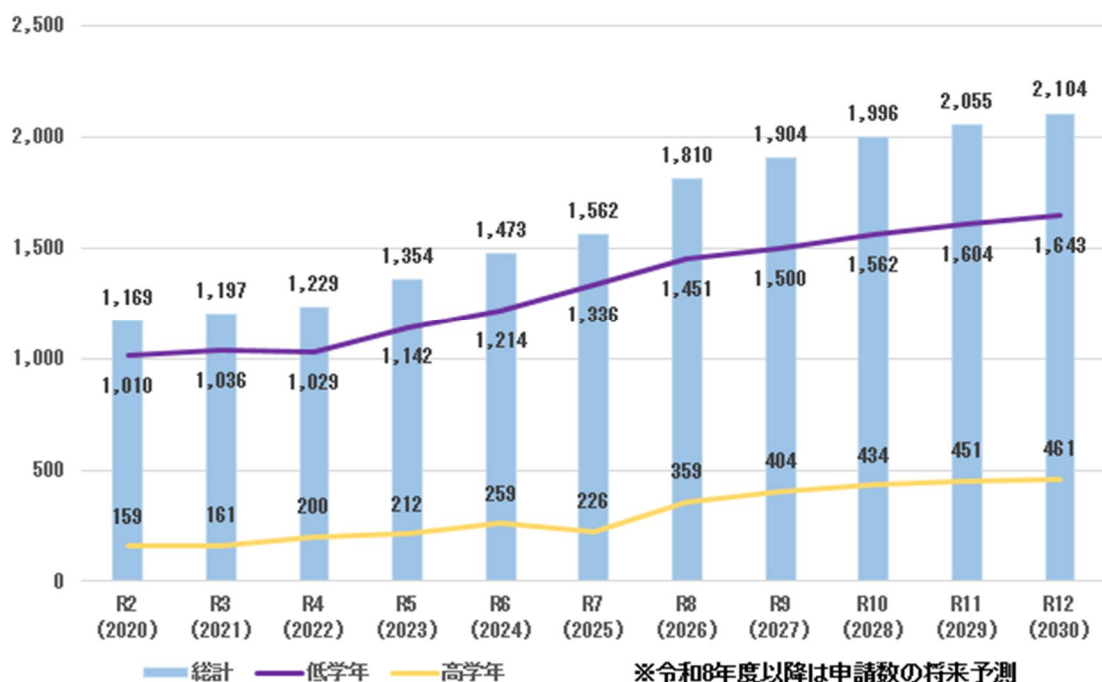
公設の留守家庭児童育成クラブの児童数は、令和2年度（2020年度）1,169人であったのが、年々増加しており令和7年度（2025年度）には、1,562人となり393人増加しています。

今後5年間も女性の社会進出による保護者の就業等により、対象児童数は増加傾向となっており令和12年度（2030年度）には2,104人となる見込みです。

■留守家庭児童育成クラブ（公設クラブ） 児童数将来予測

学校名	これまでの推移（人）												将来予測（人）											
	R2 (2020)		R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)		R8 (2026)		R9 (2027)		R10 (2028)		R11 (2029)		R12 (2030)			
	低学年	高学年	低学年	高学年	低学年	高学年	低学年	高学年	低学年	高学年	低学年	高学年	低学年	高学年	低学年	高学年	低学年	高学年	低学年	高学年	低学年	高学年		
久代小	83	8	71	16	89	7	96	18	119	16	122	14	134	36	142	47	168	43	178	50	183	55		
加茂小	60	0	71	1	70	12	72	11	73	17	85	9	102	18	114	22	132	25	133	30	137	32		
川西小	120	24	109	27	107	20	111	27	135	27	136	37	142	43	121	57	125	54	110	54	110	44		
桜が丘小	66	25	77	12	70	20	81	15	82	13	95	1	102	24	122	22	115	28	120	27	118	34		
川西北小	74	13	99	11	94	17	102	15	101	23	119	10	142	23	141	25	142	32	143	35	153	31		
明峰小	97	4	94	7	98	23	112	16	120	24	138	3	166	33	169	45	175	54	171	60	162	61		
多田小	42	8	47	1	47	6	54	7	62	11	67	12	83	17	95	20	103	26	105	30	104	34		
多田東小	67	15	70	11	70	9	73	7	84	9	90	20	92	26	83	28	81	30	86	26	95	25		
緑台小	27	7	37	10	42	5	51	11	52	14	62	15	62	16	76	22	87	23	108	20	116	29		
陽明小	36	0	34	6	34	3	48	3	56	4	61	4	71	10	84	9	89	11	94	12	93	14		
清和台小	32	2	31	0	27	2	28	7	38	4	36	7	32	6	32	4	29	4	29	4	29	4		
清和台南小	42	14	41	9	36	13	48	17	44	23	49	18	47	22	49	19	45	21	46	22	51	22		
けやき坂小	83	1	81	2	68	5	64	9	47	18	51	20	41	21	36	17	32	16	31	15	31	12		
東谷小	51	19	48	25	45	20	67	15	55	24	62	22	54	34	54	32	52	27	48	27	50	27		
牧の台小	74	10	68	17	79	13	89	13	98	11	112	13	133	10	138	15	146	17	161	18	170	18		
北陵小	56	9	58	6	53	25	46	21	48	21	51	21	48	20	44	20	41	23	41	21	41	19		
合計	1,010	159	1,036	161	1,029	200	1,142	212	1,214	259	1,336	226	1,451	359	1,500	404	1,562	434	1,604	451	1,643	461		
総計	1,169		1,197		1,229		1,354		1,473		1,562		1,810		1,904		1,996		2,055		2,104			

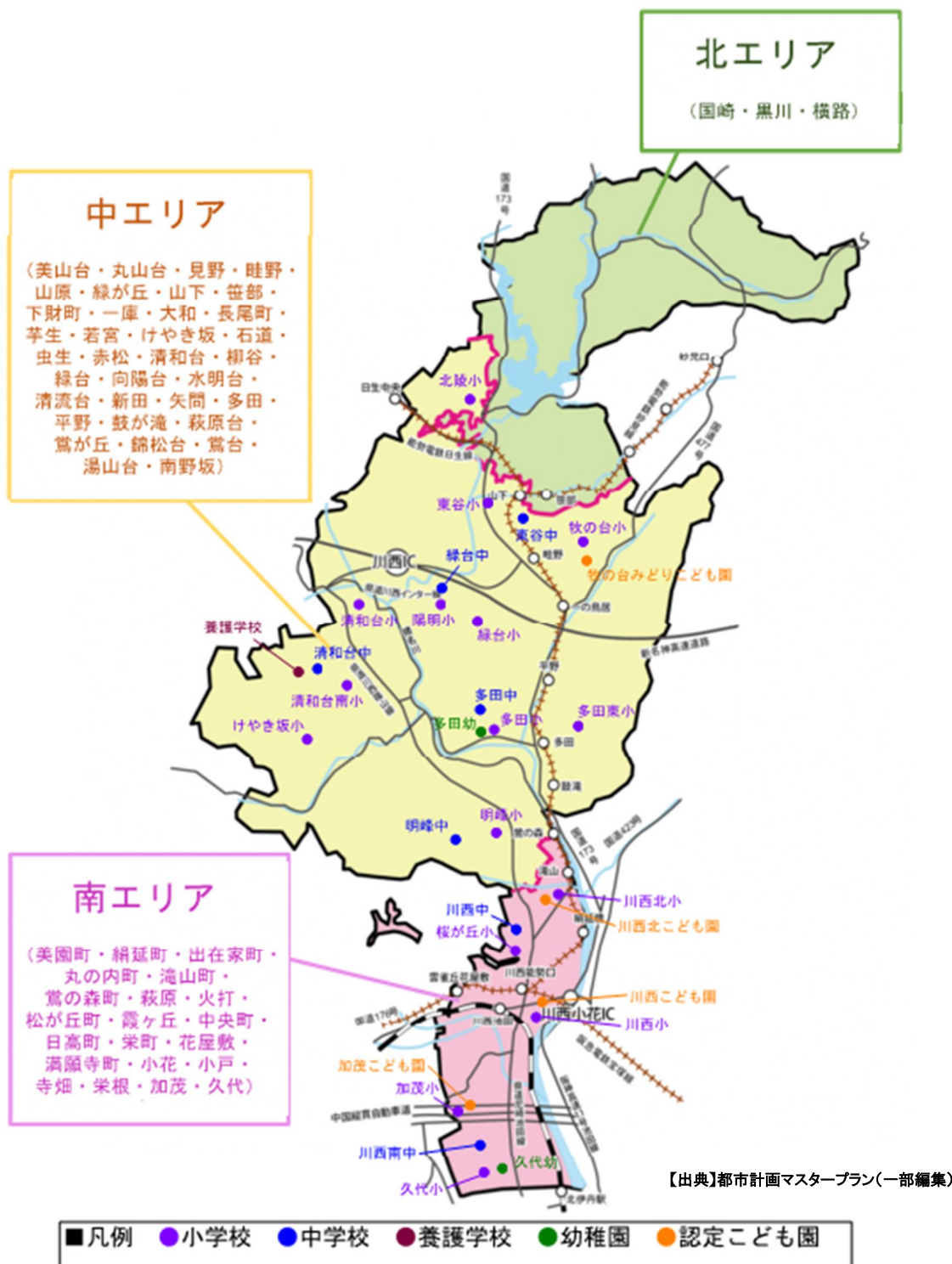
(人) 留守家庭児童育成クラブ（公設クラブ）児童数の将来予測



4-4 学校施設の配置状況

学校施設長寿命化計画の対象となる小学校 16 校、中学校 7 校、特別支援学校 1 校、幼稚園 2 園、認定こども園 4 園の市内の配置状況は以下のとおりです。

中エリアには、小学校 11 校、中学校 5 校、特別支援学校が 1 校、幼稚園 1 園、認定こども園 1 園が、南エリアには、小学校 5 校、中学校 2 校、幼稚園 1 園、認定こども園 3 園が配置されています。



4-5 学校施設関連経費の推移

本市の学校施設関連経費の推移は、下表のとおりです。平成26・27年度（2014・2015年度）に川西市立小学校施設耐震化・大規模改造PFI事業を実施後一度経費は減少しましたが、平成29年度（2017年度）に川西市立小中学校及び幼稚園等空調設備整備PFI事業により施設整備費が大きく増加しています。その後再び経費は減少しましたが、令和3年度（2021年度）は川西市立小中学校大規模改修工事、令和4年度（2022年度）は中学校給食センター整備工事により施設整備費が大きく増加しています。維持修繕費と光熱水費・委託費を含めた学校施設関連経費は、過去10年間の平均が約21.4億円となっています。

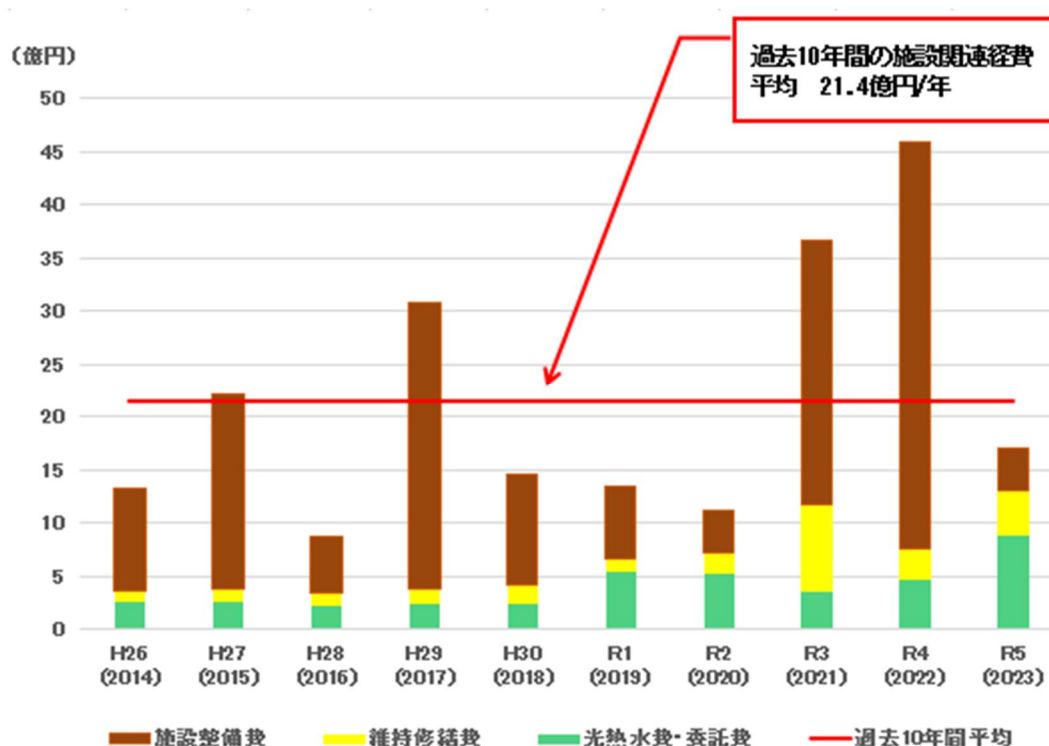
【図表 学校施設関連経費実績】

（単位：千円）

経費内訳	年度	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	過去10年 平均
施設整備費		962,164	1,828,721	526,753	2,688,893	1,034,603	693,175	406,073	2,495,093	3,821,437	404,066	1,486,098
維持修繕費		108,110	123,645	115,599	143,070	177,322	119,619	190,409	812,152	299,381	411,903	250,121
光熱水費・委託費		267,687	264,335	228,308	245,316	248,768	540,632	533,869	357,109	467,220	894,486	404,773
合計		1,337,961	2,216,701	870,660	3,077,279	1,460,693	1,353,426	1,130,351	3,664,354	4,588,038	1,710,455	2,140,992

※四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

【図表 学校施設関連経費実績グラフ】

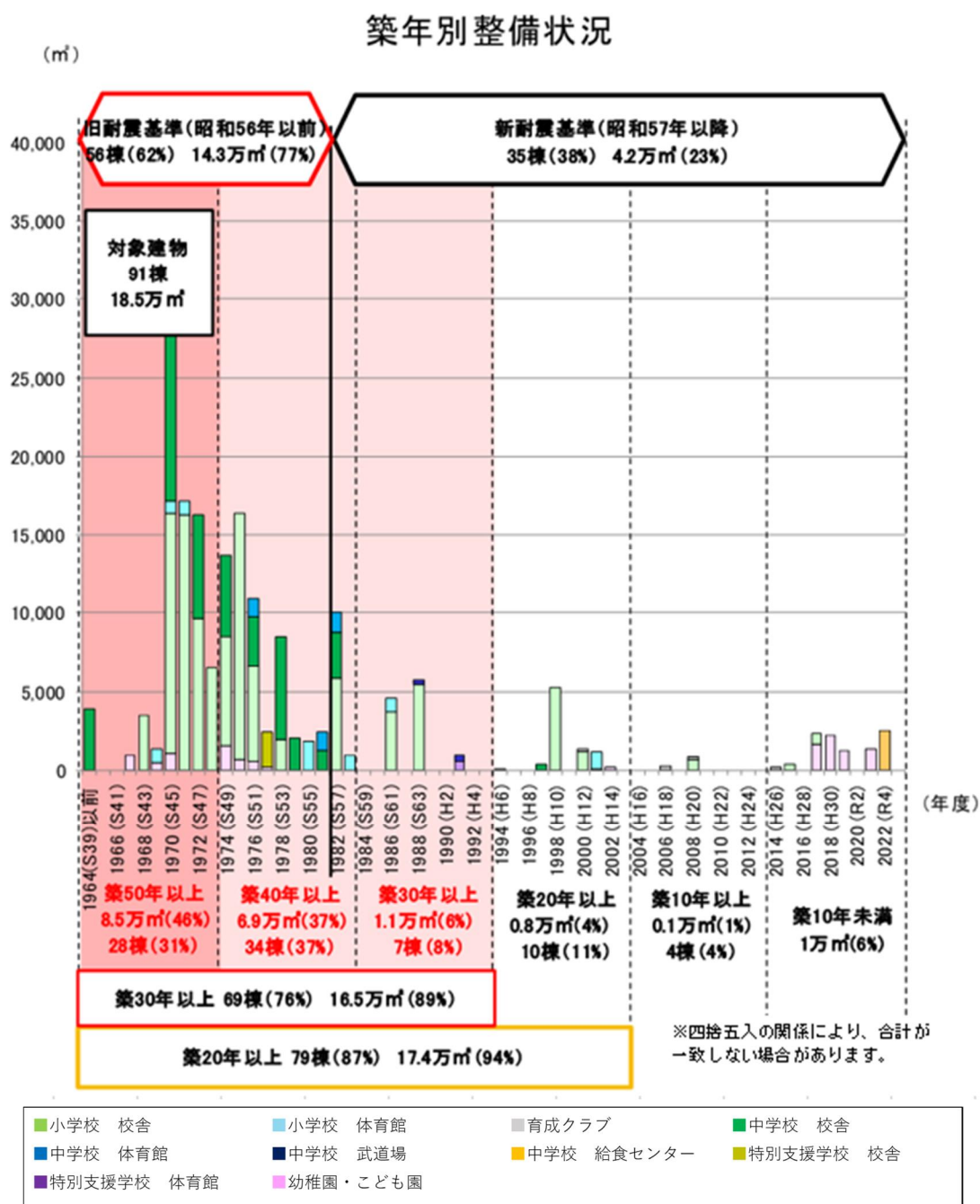


4-6 学校施設の保有量

本計画では対象の学校施設について、改築や改修を一体的に実施することが想定される「棟」をまとめて1つの建物として整理しています。

令和6年度（2024年度）時点で小学校17校（（旧）加茂小学校体育館を含む。）、中学校8校（中学校給食センターを含む。）、養護学校1校、幼稚園8園、認定こども園4園、留守家庭児童育成クラブ室専用棟5室で、計91棟の施設を保有しており、総延床面積は18.5万㎡となっています。これは、本市の公共施設の総延床面積の40%以上を占めています。

学校施設は特に昭和40（1965）年代から50（1975）年代に集中的に整備され、築40年以上経過する施設が15.4万㎡で、学校施設の83%を占めており老朽化が進んでいる状況となっています。



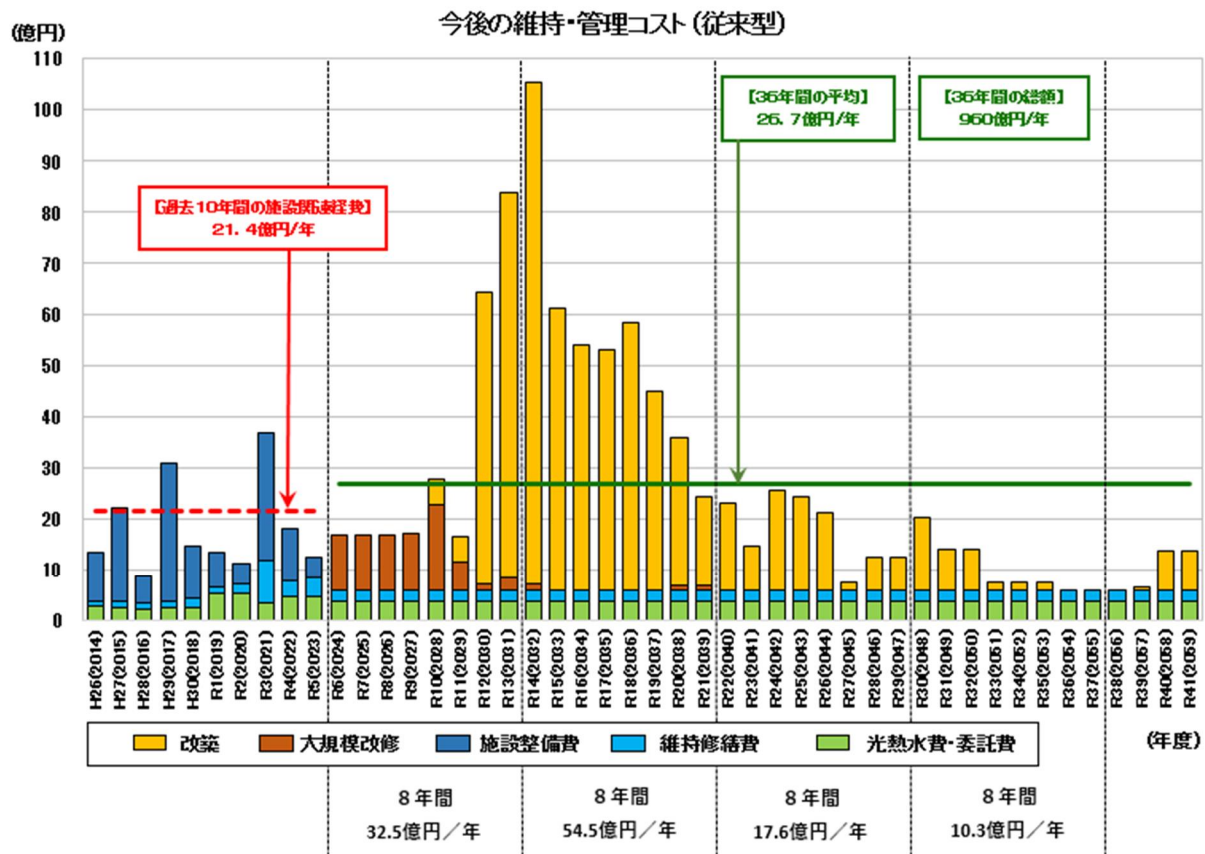
4-7 今後の維持・更新コスト（従来方式）

学校施設関連経費について、築後30年程度で大規模改修を行い、築後60年で改築する従来の考え方で学校施設を維持管理し続けた場合に必要となる維持・更新コストの試算を行いました。

令和6年度（2024年度）から36年間で必要となる維持・更新コストの総額は960億円となり、年平均26.7億円となっています。これは直近10年間の学校施設関連経費の年平均21.4億円よりも高い水準となっています。その中でも、令和12年度（2030年度）から令和21年度（2039年度）の10年間の学校施設関連経費は、改築が集中するため年平均58.4億円となり、直近10年間の学校施設関連経費の約2.7倍のコストがかかる見込みとなっています。近年の厳しい財政状況を踏まえると、従来の考え方に基づく学校施設の維持管理が極めて困難であり、対応策の検討が必要です。

■今後の維持・更新コスト（従来型）試算条件

項目	内容	周期	改修期間	単価
改築	施設の建替えに要する費用	60年	3年	410,000円/㎡
大規模改修	不具合発生後に行う経年劣化による損耗、機能低下に対する機能回復工事	30年	1年	143,000円/㎡
部位改修	劣化が著しい部位ごとに行う改修	今後10年以内	1年	部位ごとに改築単価に対する割合を設定
維持修繕費	維持修繕に要する費用	毎年		過去10年間実績平均額
光熱水費・委託費	光熱水費や維持管理に係る委託費用	毎年		過去10年間実績平均額
施設整備費 (修繕維持費含む)	直近5年間の施設整備費・維持修繕費の実績			



4-8 学校施設の老朽化状況の実態

学校施設の老朽化状況を把握し、今後の改修方針等を検討するため「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（文部科学省）に基づき、構造躯体の健全性及び主要構造部の劣化状況の評価を行います。

(1) 構造躯体の健全性及び長寿命化の判定

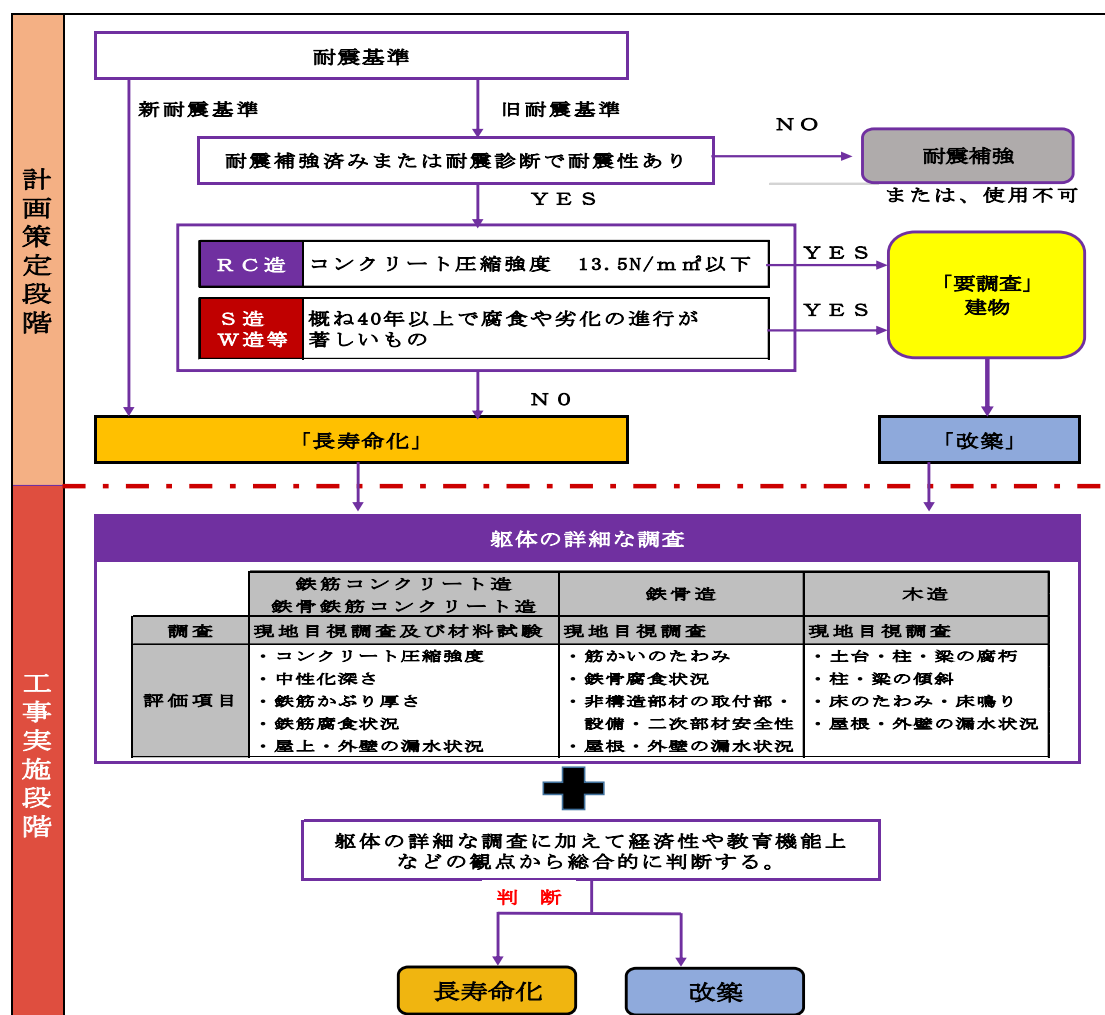
長期間にわたり建物を使用するには、構造躯体が健全でなければ必要な安全性は確保できません。耐震診断時の調査資料を基に、建物の築年数やコンクリート圧縮強度等を用いて、長期間の建物使用の可否について、構造躯体の健全性を評価します。

調査資料等から、下表「長寿命化判定フロー」に基づき判定した結果、計画対象建物 91 棟のうち 89 棟が長期間にわたって使用できるものとして「長寿命化」、他 2 棟については「要調査」となりました。

「要調査」と判定した建物は、日常使用や耐震性能に問題があるものではなく、今後必要に応じて調査を実施することとします。

なお、工事実施段階では、施設ごとの構造躯体の詳細な調査（コンクリート圧縮強度や中性化深さ等）を行い、最終的な改修方針等を判断する必要があります。

【図表 長寿命化判定フロー】



【出典】文部科学省 学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書

(2) 主要構造部の劣化状況の把握

建物の主要構造部の劣化状況を把握するため、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（文部科学省）を参考に、「躯体」、「屋根・屋上」、「外壁」については、専門知識を有する技術者による現地調査を実施し目視状況により、「内部仕上げ」、「電気設備」、「機械設備」については全面的な改修からの経過年数を基本に、下表「評価基準」に基づきA、B、C、Dの4段階で評価します（既に廃止している施設等については対象外）。

各部位の劣化状況の評価をした結果、「内部仕上げ」についてはD、「電気設備」、「機械設備」についてはCの判定割合が高く、「躯体」、「屋根・屋上」、「外壁」と比べて劣化が進行しています。

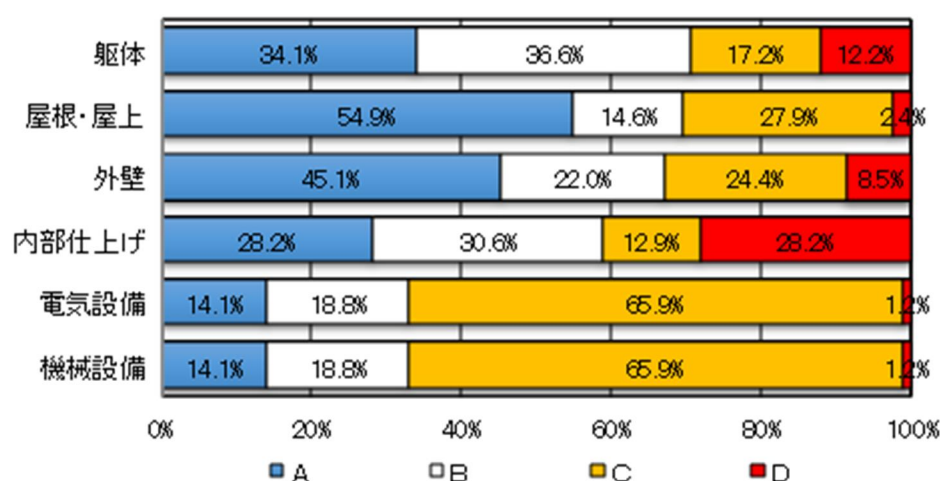
また、築年数が古い建物になるほどC・D判定が増加する傾向があり、築40年未満の建物でも大規模改修を実施していないものについては、C・D判定となっている部位が見られます。

【図表 評価基準】

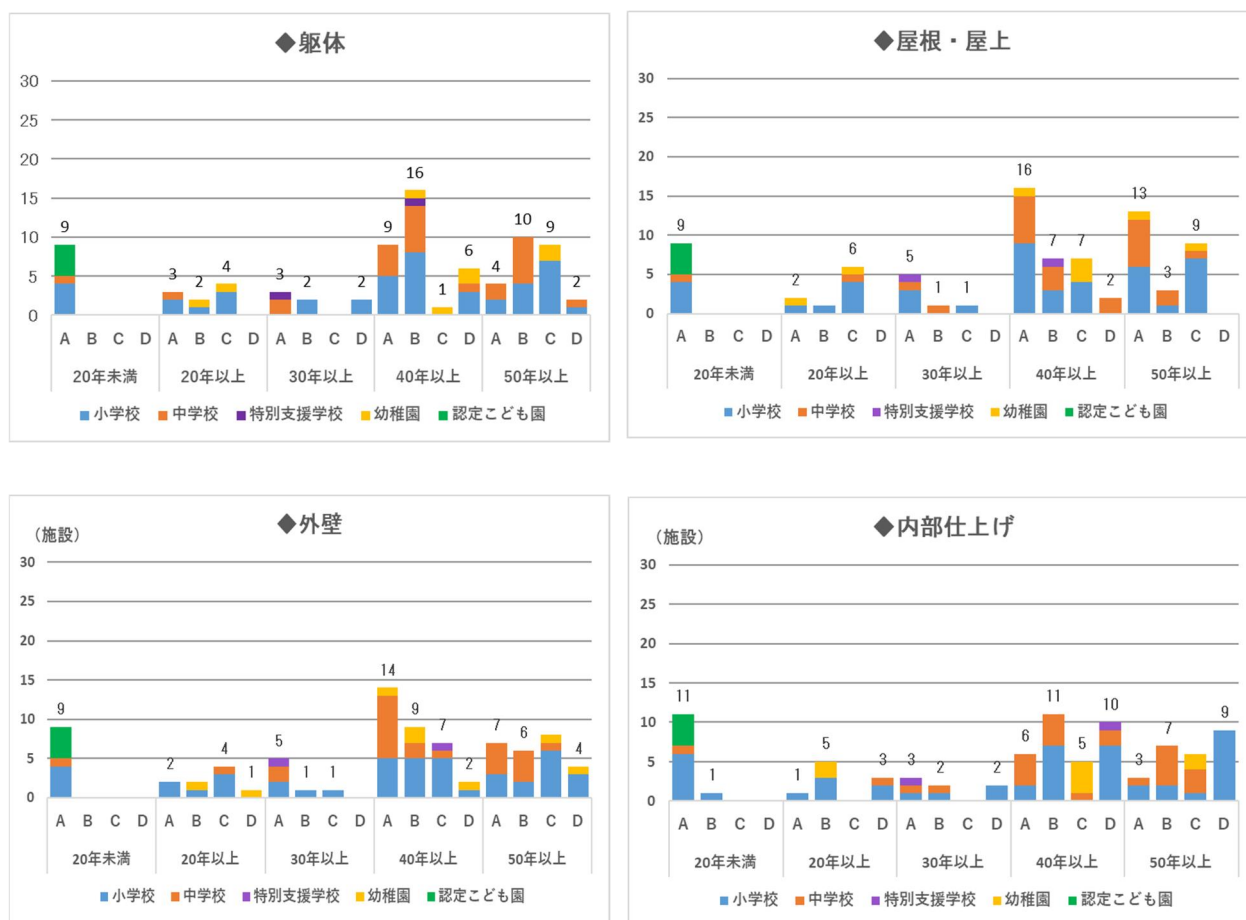
評価基準			
【躯体、屋根・屋上、外壁】 ○目視状況による評価		【内部仕上げ、電気設備、機械設備】 ○経過年数による評価	
評価	基準	評価	基準
良好	A 概ね良好	良好	A 20年未満
	B 部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)	B 20年以上～40年未満	
	C 広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)	C 40年以上～60年未満	
劣化	D 早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)など	D 60年以上	

【図表 評価結果】

劣化状況の評価結果



【図表 部位別評価結果】



(3) 健全度の算定

主要構造部の劣化状況の評価結果に基づき、100点満点に換算したものを「健全度」と定義します。この健全度を用いて今後の改修等の優先順位づけを行い、改修計画等に活用します。部位ごとの評価点と重要度係数、健全度の算定方法を下表のとおり定め、健全度を100点満点で算定します。

健全度算定の結果、大規模改修工事により70点以上の建物が62.4%となっていますが、50点未満の建物も10.6%あり、健全度の低い建物から優先的に改修等を行う必要があります。

【図表 評価点及び重要度係数】

評価点		重要度	部位の重要度の判断基準	重要度係数
A	100	大	計画保全すべき部位 (①躯体/②屋根・屋上/③外壁)	1.00
B	70	中	計画保全が望ましい部位 (⑤受変電設備/⑦空調設備)	0.50
C	40	小	事後保全で構わない部位 (④内部仕上げ/⑥⑧その他電気・機械設備)	0.25
D	10			

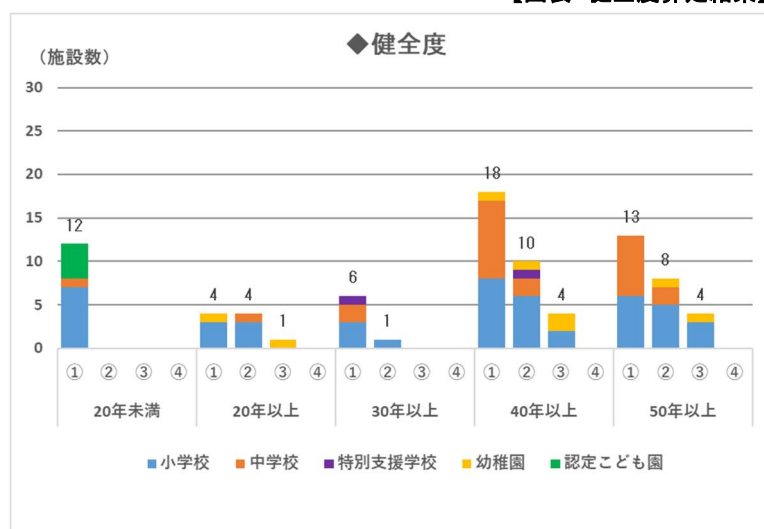
【図表 健全度算定配点表】

評価対象の部位		満点(当初)	重要度係数	満点(係数反映後)
建築	① 躯体	100 点	1.00	100 点
	② 屋根・屋上	100 点	1.00	100 点
	③ 外壁	100 点	1.00	100 点
	④ 内部仕上げ	100 点	0.25	25 点
設備	⑤ 受変電	100 点	0.50	50 点
	⑥ その他電気	100 点	0.25	25 点
	⑦ 空調	100 点	0.50	50 点
	⑧ その他機械	100 点	0.25	25 点
計				475 点

$$\textcircled{\text{C}} \text{ 健全度} = \frac{\text{総得点（各部位の評価点} \times \text{各部位の重要度係数）}}{475} \times 100$$

- 健全度は、数値が多いほど健全で、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示します。
- 475 点を 100 点満点に換算するため、満点（475 点）に対する得点の割合を算出した後、100 点を乗じています。
- 分母の 475 点はあくまで最大値です。劣化状況調査や 12 条点検（①+②+③=300 点）を実施していない施設や受変電設備（⑤=50 点）や空調設備（⑦=50 点）がない施設については、分母の 475 点からそれぞれ減点します。

【図表 健全度算定結果】



① 70 点以上 ② 50 点以上 70 点未満 ③ 30 点以上 50 点未満 ④ 30 点未満

